

原爆後障害医療研究所の砂押正章特任研究員が The 1st International Symposium of the network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science 「若手優秀ポスター賞」を受賞

2017年3月8日

原爆後障害医療研究所（原研医療）の砂押正章特任研究員が演題「Age-at-exposure dependence in thymus regeneration after fractionated irradiation to mice」により、The 1st International Symposium of the network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science 「若手優秀ポスター賞」を2月22日に受賞されました。

本賞は、広島大学、長崎大学、福島県立医科大学が開催する国際シンポジウムにおけるポスターの中から、40歳以下の若手研究者による特に優秀な発表演題に対して、発表内容、新規性、発展性及び社会的価値等を基準に評価者が採点した結果に基づき、選考委員会により授与されるものです。

表彰式は同シンポジウム（広島大学医学部広仁会館）において執り行われました。

